

前年度に引きつづき、コミュニティ参加企業から 5 名の参加者を迎え、1 月 20 日に実施した第 3 回ワークショップ「アーキテクトノヤクメ」の内容を以下に紹介する。

1. アーキテクトノヤクメ

アーキテクトの役目について、参加者が調べたこと、考えた事を発表してもらった。参加者の周りで、IT アーキテクトと自他共に認められた人を観察したり、インタビューしたりして、自分の目、耳で直接確かめたものである。以下、概要、ポイント、印象的なコメントや質疑応答を記載する。

<発表内容>

(1) 発表者：渡邊紘岐（シーエーシー）

概要

IT アーキテクトを自分なりに説明できることを目標として調査し、以下のポイントにまとめた。

ポイント

- ・設計手法を知っている
- ・知識のアップデート/引き出しの多い
- ・開発者への指示/アドバイスができる

補足

インタビューしてみて「楽しそうに自分の役割を果たしていた」のが印象に残った。

子供でもわかるように説明できないかを考えてみて、ドラえもんなのではないかと思いついた。

コメント・質疑

ドラえもんでは開発者を甘やかせることにならないか？

→ (自己レス) 開発基準書やフレームワークで方向付けはするが、全ては与えないのがアーキテクト。

(2) 発表者：薄田百合（シーエーシー）

概要

観察やインタビューを通して、自分なりの IT アーキテクト像を以下のようにまとめた。

ポイント

- ・確かな技術力と向上姿勢（保守性の高いシステムを構築する技術力）
- ・プロダクト全体を考える（品質やリリースまで見据える）
- ・顧客と開発者、双方の視点に

補足

開発者や顧客にわかりやすく説明する姿勢が印象に残った。

コメント・質疑

アーキテクトの役割はリリースでは終わらない。そのあとの保守も見据える必要がある。

保守性が高い、とはどういうことなのか？ → 作った人でなくても直せること。

OSS の活用など車輪の再発明をしない姿勢が重要。CI/CD の自動化でミスを防ぐのも重要。

(3) 発表者：柴崎峻吾（さくら情報システム）

概要

IPA の IT アーキテクト育成ハンドブック第 2 版を紹介した後、私なりのアーキテクト像を求めて A さんにインタビューした結果、以下のようにまとめた。

ポイント

- ・広い視野を持ち、勘所を抑える能力がある。
- ・固定観念に左右されず、また自分も過信しない。
- ・情報を整理する能力があり、根拠もとに判断できる。

コメント・質疑

自分を過信しないとは？ → 自分の能力の限界を知っていること

〇〇アーキテクトの〇〇はあまたある。ITABok を見るとその例が多く出ている。

自分で〇〇アーキテクトとまず名乗ってはどうか。走り出して、気づいたら方向転換すればよい。

(4) 発表者：笠井康裕（東芝デジタルソリューションズ）

概要

IT アーキテクトの役目はビジネス要求を満たす最適なアーキテクチャを設計することである。その際、実現可能であることの評価/証明も必要。また機能だけでなく非機能要求の考慮も必要である。具体的に職場で思い浮かぶ何人かの IT アーキテクトをイメージして IT アーキテクト像をまとめた。

ポイント

- ・IT 分野の幅広い知識を持ち、システム開発の実務経験が豊富である。
- ・ビジネス分野に対する理解がある。
- ・リーダーシップ/コミュニケーションの高さ
- ・顧客目線の考え方ができ、柔軟な思考を持っている。
- ・常に新しいことに興味を持ちアンテナを張り、知的好奇心が旺盛な人。

補足

技術力が高くなっても管理職となってしまう、技術力を発揮できない例が多いのが課題

コメント・質疑

実現可能性の証明はどうやるの？ → 小さく作って試す。

ポイントの中でも重要なものは？ → 顧客目線や知的好奇心など性格的なもの。

実務経験が無くても育成できないかと思う。若い人は実務経験が浅くても色んな新しいことができる。クラウド・アーキテクチャなど。

(5) 発表者：尾崎恭平（東芝デジタルソリューションズ）

概要

IT アーキテクトの役割について一般論を考察した後、長期の案件でかかわった IT アーキテクトっぽい人を観察して、見えてくる IT アーキテクト像をまとめた。

ポイント

- ・現行のシステムも含め、お客様のビジネスに関する理解力が必要
- ・客先、社内問わず関わる人が多い
- ・ハードウェア、ソフトウェアによらず幅広い知識が必要

コメント・質疑応答

用語の確認は重要です。データ辞書づくりなども最近では昔ほどみられなくなりましたが大切です。

非機能要件の理解も重要。IPAの非機能要求グレードを挫けずに読んで、具体的にアーキテクチャに落とし込んでみるなどすると勉強になる。

非機能要求グレードは便利だけれど、そのままお客様に出さないように。メリデメを含め丁寧に説明。

(6) 全体討議

コメント・質疑応答

考えてほしいこと。

IT アーキテクトと PM の違いは何か？

IT アーキテクトがいれば PM はいらないのか？

IT アーキテクトはプロジェクトのどの段階から参加するのか？

アーキテクトは現実的着地点を決める人と言われるが、経験上はお客様に諦めさせる場面が多い。

技術力は当然ですが、説明責任やその能力も重要です。

2. 次回課題説明

今回は「メザススガタ」と題して、アーキテクトと言う職種・役割に興味を持たたかどうか、どのようなエンジニアを目指したいか、その為にどのような行動をしようと思うかを発表してもらおう。

次回開催予定 2021/2/26 (火) 17:00~19:00